

## 大阪大学オープンコースウェア(OCW)

- ○2005年5月13日から公開を開始
  - 日本オープンコースウェア連絡会発足と同時
- 現在、公開5年目
- 当初は大阪大学サイバーメディアセンターが、独自にサイト構築と運営を実施
- 大阪大学本部、教育・情報室での議論を経て、2006年 1月より、全学規模e-Learning環境基盤整備事業の一環として、大阪大学CMCがサイトの維持・運営を担当

## 大阪大学OCWの現状

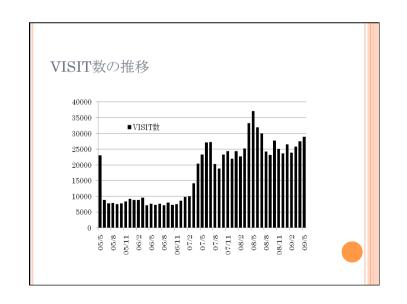
- 現在の公開コースは38
- 映像素材は6コースで20本程度存在
  - 動画は様々な形式が存在
- シラバス、講義日程等の情報に加えて以下のいずれかの内容を含む。
  - 講義資料(パワーポイントファイル)をPDF化したもの
  - オンライン学習教材(Flash等で作成されたもの)
  - 講義用インタラクティブ教材

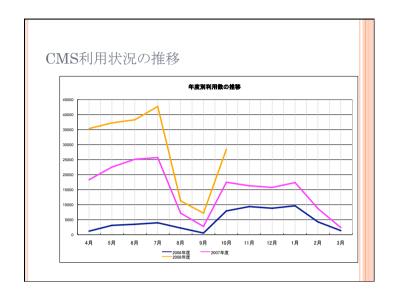












# アクセスの多い講義

22	ディジタル集積回路設計	85521
21	アナログ集積回路設計	76953
44	会社法基礎	44580
30	バイオテクノロジー・ファンダメンタルズ	43702
23	高周波集積回路設計	42818
26	システムインタフェース設計論	39594
47	量子力学B	36821
28	情報技術と倫理	33337
35	量子力学A	31850
3	Theory in Materials Science	31767
	生物情報工学(マクロ生物学)	29492
19	代謝情報工学	28503
18	Fluid-Solid Multiphase Flow	26483
36	臨床コミュニケーション入門	21927

## 大阪大学OCWの位置づけ

- 社会貢献事業の一つ
- e-Learning 基盤構築のための理由の一つ
  - 教育・情報室内の情報基盤委員会内に設けられた教育情報化WG において方針を決定する。
  - 情報基盤委員会においてアクセス状況などの報告を実施中
  - 情報基盤委員長が全学に教材推薦を依頼

## COW教材を増やすには?

- 全学的な呼びかけ
  - 全学に講義提供の依頼をしてもあまり集まらない
  - 個別に依頼するとうまくいく場合もある
- 公開できる素材を増やす
  - 動画コンテンツを今後増やす方向で検討中
    - 講義映像の収録環境の構築
  - CMS上に教材を集めてくる
    - 。STSによる教材作成支援

## 今後の課題

- ∘ CMSからの教材の移行
- ○学内認知度の向上
- 学内他システムとの連携
  - シラバスシステム
  - 機関リポジトリ(OUKA)
- ○映像収録スタッフの確保

